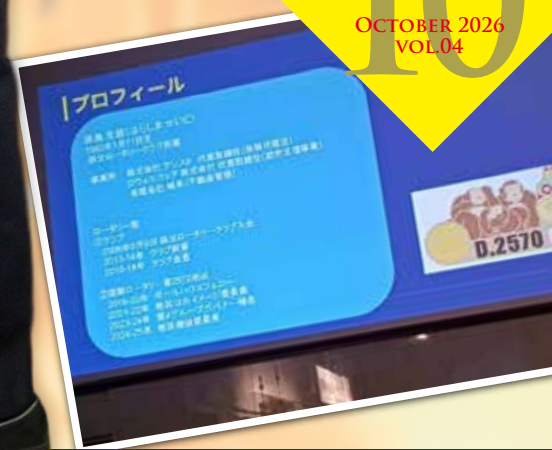


ガバナー月信



ガバナー月信
GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER

OCTOBER 2026
VOL.04



ガバナーメッセージ



世界に誇る奉仕の輪を未来へ ～米山記念奨学事業と ポリオ根絶への想い～

国際ロータリー第2570地区
2026-2027年度 ガバナー

原 島 生 慈

■ 秩父RC

国際ロータリー第2570地区の会員の皆様、日頃より地区活動および各クラブでの意欲的な奉仕実践に心より感謝申し上げます。秋深まる10月を迎え、各クラブへのガバナー公式訪問も順調に進み、皆様の熱い情熱と地域に根ざした素晴らしい活動の数々に触れ、大変心強く感じております。

さて、10月はロータリーの学術・国際奉仕の要である「米山記念奨学事業月間」であり、同時に24日には「世界ポリオデー」を迎える、私たちロータリアンにとって非常に重要な意味を持つ月であります。今年度の地区テーマ「ロータリー活動に誇りを！」そしてRI会長テーマ「Create Lasting Impact（持続可能な変化を生み出そう）」のもと、私たちが地域と世界においてどのような「持続可能なインパクト」をもたらすことができるのか、改めて皆様と共に考えてまいりたいと思います。

第一に、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会の事業についてです。我が国のロータリーが誇るこの独自事業は、将来母国と日本との架け橋となる優秀な留学生を支援し、平和と国際相互理解を推進する素晴らしい取り組みです。奨学生たちは単に経済的支援を受けるだけでなく、各クラブでの例会出席や会員との交流を通じて日本の文化やロータリー精神を学び、成長していきます。そして終了後は、世界各地で平和の使者として活躍しています。

私たち第2570地区におきましても、これまで多くの米山記念奨学生を温かく迎え入れ、心の通った交流を続けてまいりました。カウンセラーをはじめとする会員の皆様の親身なサポートこそが、奨学生にとって生涯忘れることのできない「日本の温もり」となっています。ぜひこの機会に、各クラブにおいて米山奨学事業への理解をさらに深めていただき、寄付へのご協力はもちろんのこと、奨学生や

世界に誇る奉仕の輪を未来へ ～米山記念奨学事業とポリオ根絶への想い～

米山学友との積極的な対話の場を設けていただけますようお願い申し上げます。彼らの成長を支えることは、私たちが未来の平和に投資する最も確かな奉仕の一つです。

第二に、10月24日の「世界ポリオデー」に向けたポリオ根絶活動です。1985年にロータリーがポリオ根絶運動を開始して以来、世界中のロータリアンが粘り強くポリオワクチンを届け続けてまいりました。かつて年間35万人以上発生していたポリオ症例は、ロータリアンのあくなき情熱と寄付によって99%以上削減され、野生型ポリオの発生国は残りわずか2カ国にまで減少しております。

しかし、根絶まであと一步の「最後の1マイル」が最も過酷であり、ここで手を緩めることはできません。完全根絶を成し遂げるその日まで、私たちが強い意志を持って支援を継続することが求められています。第2570地区としても、ポリオ根絶に向けた募金活動や地域社会への啓発活動を一層推進してまいりましょう。「ポリオのない世界」を実現することは、ロータリーが世界に誇る最大の約束であり、未来の子どもたちへ贈る最高のマニフェストです。

また、今月は地区の重点施策である「子ども食堂・子どもの貧困支援」などの社会奉仕活動についても、各地域で具体的な実践が進む時期です。未来を担う青少年を育み、地域の課題に寄り添う私たちの活動は、まさに「地域社会になくてはならない団体」として「持続可能な変化」をもたらす源泉です。一人ひとりの小さな志が集まることで、地域に大きな希望の光を灯すことができます。

ロータリーの奉仕は、自己の成長にとどまらず、他者の人生を豊かにし、世界をより良い場所へと変える力を持っています。どうぞ皆様、ロータリー活動に誇りを持ち、今月も明るく楽しく、そして力強く歩みを進めてまいりましょう。

各クラブの益々の発展と、会員皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。



財団セミナー 開催

9月5日(土)



於：早稲田リサーチパーク
コミュニケーションセンター

ガバナー
原島生慈

■ 秩父RC

ロータリー財団委員会
統轄委員長

細淵克則

■ 入間RC



世界の誰かのために!!
寄付目標 \$210



資金推進委員会 委員長
中嶋理恵子

■ 羽生RC

資金推進委員会の役割は、まず、会員一人当たり \$210 の寄付目標を周知し、その目標を達成させ、各クラブへの地区補助金、財団奨学生、グローバル補助金で世界中の困っている誰かのために役立てられる入口を作ることです。そして次に、ロータリーカードを各クラブ、会員の皆様に作成していただくこと。そのカードの利用金額の中から自動的にポリオ根絶のための寄付に役立つことを皆様に理解していただく。この二つです。

ロータリーは会員皆様からの寄付で成り立っている組織です。

今年度も寄付目標は、一人当たり \$210 です。世界の誰かのために。心温かな寄付をどうぞよろしくお願い申し上げます。



ポリオプラス委員会 副委員長
寺田恭典

■ 深谷RC

9月5日本庄市にある早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンターにおいて今年度のロータリー財団セミナーが、総勢 70 名出席のもと開催されました。

原島生慈ガバナーは財団とロータリー活動の重要な役割を両輪に例え、会員への寄付の協力を要請されました。また、細淵統轄委員長からセミナーの趣旨説明があり、財団の使命であるポリオ根絶、補助金の活用、奨学生や平和フェロー派遣の推進について強調されました。その後は、各委員会から推進事項について説明がありました。

後半では、山岸泰輔委員からロータリー平和フェローシップについて昨年当地区がホストエリアに選ばれ、新たな世界平和のための一翼を担う旨の発表があり心強い思いを感じました。

また、2027-2028 年度派遣 グローバル補助金奨学候補生 吉田小雪さん、渡邊美月さん 2 名の自己紹介があり、これまでの経歴や財団の使命と志望動機の関係、留学先でのテーマや今後のキャリアプランについて聞かせていただきました。

最後に原島ガバナーからポリオ最終段階の完全撲滅に向け力強いメッセージを頂き閉会となりました。



統轄副委員長
茂木 聡

■ 本庄RC



11月1日スリーデーマーチ



〈昨年の参加写真より〉



ポリオプラス委員会
委員長

安齋 治一郎

■ 寄居 R C

- ①ポリオプラス委員会の活動は11月1日にスリーデーマーチに参加し皆さんと赤いTシャツを着てポリオ根絶を訴える活動をする。
- ②各クラブでイベント又は奉仕活動の時に赤いTシャツを着てポリオ根絶を訴える活動する。
- ③ポリオプラスソサエティーの参加を促し、年間100ドルの寄付をポリオが根絶するまで寄付する人を募集する、今年度50名をめざす。
- ④地区のイベントにはなるべく参加して、募金活動する。



奨学学友・平和フェロー委員会 委員長

島村 拓史

■ 川越 R C

現在、第2570地区では、第24期ロータリー平和フェローのクリントン・キンメルさんが活動しています。今期の第25期平和フェローは、健康上の理由により来日が1年延期となりました。

クリントンさんはAFE (Applied Field Experience) を終え、現在は来日2年目を迎え、レポートやカリキュラムに忙しい日々を送っています。機会があれば、ぜひ卓話やクラブ活動などにお声がけいただき、皆さまとの交流を深めていただければと思います。

また今年度、地区グローバル補助金奨学候補生として、吉田小雪さん、渡邊美月さんの2名を迎えました。1年間のオリエンテーションや地区行事への参加を通じて学びを深め、世界へ大きく羽ばたいてほしいと願っています。皆さまの温かい応援とご支援を、よろしくお願いいたします。



補助金委員会 委員長

今泉 学之

■ 秩父 R C

当委員会は、第2570地区の各クラブが財団の補助金を活用して行う奉仕事業を資金・手続き面から支援する委員会です。皆様の温かい寄付金を財源とし、クラブの熱い奉仕の想いを「形」にするお手伝いをしています。

【主な委員会事業と支援内容】

- ・地区補助金：地域の実状に即した小規模・短期的な奉仕事業資金としての地区補助金申請支援と各クラブへの補助金支給手続き
- ・グローバル補助金：7つの重点分野に沿った大規模な奉仕事業の企画支援・グローバル補助金申請支援（それぞれの補助金事業には奨学生奨学金の審査・支給手続きも含まれます。）
- ・資格認定・研修：適正な資金運用のためのクラブ参加資格認定と資金管理セミナーの開催

第1回 社会奉仕セミナー開催

9月5日(土)

於：早稲田リサーチパーク



子ども家庭委員会委員長
下境将寛

■ 深谷 R C



9月5日、本庄早稲田駅近くの早稲田リサーチパークにて、第1回社会奉仕セミナーを開催いたしました。当日は遠方からご参加いただいた会員もいる中、約70名の会員にご参加いただきました。

今年度、国際ロータリー第2570地区 原島生慈ガバナは、子どもの貧困問題を重点課題とされております。そこで、各クラブの社会奉仕活動を今一度見つめ直し、ロータリーとして、またクラブとして取り組むべき社会奉仕活動を検討する良い機会になればと思い、本セミナーを企画いたしました。

セミナーは2部構成で、第1部では、一般社団法人ヤングケアラー協会の役員である高垣内文也氏を講師にお招きし、「ヤングケアラーとは～体験談と支援のリアルを通して～」と題してご講演いただきました。一般社団法人ヤングケアラー協会は、ケアラーとその家族が良好な状態でいられるための包括的な支援を行っており、相談窓口の開設、キャリアサポート、居場所づくりなどの活動に取り組んでいます。高垣内氏は現在、令和8年度子ども家庭庁の子ども・子育て支援等推進調査研究事業の委員を務めておられますが、ご自身も元ケアラーであり、講演ではその体験を時系列に沿ってお話してくださいました。本来であれば子ども時代にできたはずの経験ができなかったこと、やりたかったことや夢、希望を持つことができなかったこと、成人して就職した後も家族のケアに追われ、精神的に不安定になってしまったこと、自己肯定感が低く、常に孤独や孤立を感じていたことなど、大変リアルなお話でした。最後に、私たちロータリアンにお願いしたいこととして、ケアをしてきた若者の就労体験や採用を検討してほしいこと、また社員が家族のケアを必要とする状況になった場合でも、働き続けられる環境を整

備してほしいとのご要望をいただきました。

第2部では、「日本初の条例制定市の次の一手～その大丈夫を見逃さない～」と題し、ご自身も4人の子どもの育てる親である入間市長・杉島理一郎氏にご講演いただきました。全国で初めてヤングケアラー支援条例を制定した入間市は、条例制定後も実態調査や相談支援、ヘルパー派遣など、支援の充実に取り組んでこられました。その一方で、支援を必要とする子どもを十分に把握できていないことや、ヤングケアラーとして把握されても実際の支援につながらないケースがあるなど、新たな課題も見えてきたそうです。

その解決に向けた「次の一手」として、潜在的ヤングケアラーの完全把握を目指した「3階層分類」や、ヤングケアラーの多様性に対応し、一人ひとりの状況や家庭の実情に応じた「24の支援メニュー」など、従来の枠組みにとらわれない新たな支援のあり方をご紹介いただきました。これを「入間方式」と銘打ち、そのノウハウを全国の自治体へ広めていきたいとのことでした。「大丈夫」と答える子どもの言葉の背景には、誰にも言えない困難や支援を求めるサインが隠れているかもしれない。その小さなSOSを見逃さず、行政、学校、地域、関係機関が連携し、子ども一人ひとりが子どもらしく生きられる社会をどのように実現していくのか。ヤングケアラーの発見から実際の支援までの経過をケーススタディ形式でご説明くださり、大変分かりやすい講演内容でした。

未来を担う子どもたちのために、私たちロータリーに何ができるのかという課題を、改めて考えさせられるセミナーであったと思います。



第5グループ西

8月7日(金)

原島ガバナー公式訪問
熊谷ロータリークラブ埼玉縣信用金庫
さいしん熊谷本町ビル4F会長
富田 満幹事
秋山恵一

国際ロータリー第2570地区ガバナー原島生慈様、第5グループ西ガバナー補佐中島正義様、地区幹事太田雅孝様をお迎えしてガバナー公式訪問例会が行われました。

例会前には入会3年未満の新入会員8名との懇談会が行われました。会員からの自己紹介、RCの印象、ガバナーに質問するなどし、ガバナーからはロータリー活動の意義など、多くのお話を伺うことができ、貴重な時間を過ごしました。

例会の卓話においてはガバナーよりRIのお話や地区テーマ「ロータリー活動に誇りを！」について分かりやすく丁寧な説明を頂きました。参加したメンバー全員が改めて国際ロータリーや地区テーマについて学ぶことができる貴重な機会となりました。

例会終了後にはクラブ協議会が開催され、発表テーマ「ロータリー活動に誇りを持って経験」についてベテランの会員、中堅の会員あわせて3名の発表後、ガバナーより具体的でわかりやすいアドバイスを頂き、和やかな雰囲気の中クラブ協議会を終了しました。

第5グループ西 ガバナー補佐
中島正義 (熊谷RC)

熊谷ロータリークラブは、第2570地区において川越ロータリークラブに次ぐ歴史を誇るクラブです。現在の会員数は95名を数え、多くの2世・3世メンバーも所属しています。本年度、東京海上日動火災保険ビル5Fから埼玉縣信用金庫ビル4Fに例会場が変更になり、役員と事務局員の皆様は大変御苦労されたようです。しかしながら食事は今までと同様、うな重やお寿司のほか常時5種類以上のメニューがあり、メンバーも毎回楽しみにしているようです。

本年度富田会長の運営方針「絆と愛を育む」のテーマのもと、熊谷の歴史を学び地域貢献を目指して活動されています。今年一年間、ご健康でご活躍されますことをご期待申し上げます。



米山記念奨学生になって

舒 錦華 ジョ キンカ
中国・上海市 (立教大学)

米山記念奨学生になってから、毎月電車に乗って熊谷市まで行き、例会に参加しています。例会で出会った皆さんはいつも温かく、内向的な私にも気さくに話しかけてくださいます。そして、ご自身のこれまでの人生や経験について楽しそうに話してくださり、毎回たくさんのことを学ばせていただいています。

私にとって特に印象に残っているのは、7月に恋人ができたことです。それをきっかけに、カウンセラーのおじいさんが私と恋人を熊谷の花火大会に誘ってくださいました。夜空に向かって大きく開く花火を見ながら、隣にいる大切な人の笑顔を感じた時、「自分は今、生きているんだ」と実感しました。温かく見守ってくださる皆さんに、心から感謝しています。

第1グループ北

8月19日(水)

原島ガバナー公式訪問 鶴ヶ島ロータリークラブ

アルカーサル迎賓館川越



会長
森治高央



幹事
向井宏倫

8月19日、原島生慈ガバナー、神田茂ガバナー補佐、高田富康地区副幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会が行われました。

例会前には入会3～5年未満の会員5名との懇談会が行われ、和やかに交流。卓話では地区スローガン「ロータリー活動に誇りを！」に込めた思いや、ロータリーは「究極の自己投資」とのお話をいただきました。クラブ協議会では世代を越えて活発に意見を交わし、米山記念奨学生クン・アウン・チョーさんも発表しました。36歳から95歳までが自然に語り合えることも当クラブの魅力です。

締めくくりには、95歳の渡辺道雄会員が今年の青森ねぶた祭を自ら撮影した写真をご覧いただき、年齢を問わず活動的にロータリーを楽しむ鶴ヶ島RCらしさもお伝えする機会となりました。



第1グループ北 ガバナー補佐 神田 茂 (東松山むさし RC)



森治高央会長は、「私がロータリーの歯車を動かす原動力になり、メンバーの皆様の歯車がかみ合いインパクトを生み出せる。」としたうえ、「止まっていたは、明日はよくなりません。一緒に行動しましょう。行動すれば誇りが残ります。」と語られました。

米山記念奨学生によるスピーチコンテストを開催し、齊藤大祐ガバナーノミニを擁する活力のあるクラブは、一丸となって体制づくりを進めています。グループ全体で協力していきたいと思います。



米山記念奨学生になって クン アウン チョー ミャンマー (城西大学)

母国にいた頃は、日本へ来るのに必死でした。幸いにも日本に来ることができ、日本の大学で留学生生活を送れていることに満足しています。さらに、大学の推薦により奨学生に選ばれ、ロータリーと出会ったことで、私の生活はより充実したものになりました。もちろん、毎月の奨学金は生活費や授業料を補う上で大きな安心感を与えてくれています。一方で、毎週の例会を通して、自分の価値観を高めることができていると感じました。

社会に貢献しようとしているさまざまな職業で活躍しているロータリアンの皆様とお話しや貴重な意見を聞くことができました。また、これまであまり経験することのできなかった日本の伝統料理を味わったり、日本文化に触れたりする機会も増えました。奨学生としての残りの時間を大切にしながら、これからも多くのことを学んで成長していきたいと思っています。

第1グループ北

8月20日(木)

原島ガバナー公式訪問
坂戸ロータリークラブ

アルカーサル迎賓館川越

会長
関口記嗣幹事
清水康弘

8月20日に原島生慈ガバナー、神田茂ガバナー補佐、阪本昇寿地区副幹事をお迎えして公式訪問例会を開催いたしました。

例会前に入会5年未満の会員と懇親会を行い、ガバナーよりの確で貴重なアドバイスを頂戴することができました。

そして、ガバナーの卓話ではRI会長テーマから今年度の地区方針や具体的な取り組み（ポリオ根絶、平和の推進、クラブの活性化、確かな奉仕）、地区の運営についての説明をいただきました。

また、クラブ協議会は3班に分かれて「ロータリー活動に誇りを持てた経験」をテーマとしてディスカッションを行い、その後に討議内容の発表をいたしました。ガバナーからは、現状に満足せずに新たな取り組みを率先して実行し、クラブの活性化を図ってほしいとお言葉をいただきました。

第1グループ北 ガバナー補佐
神田 茂 (東松山むさし RC)

本年度60周年を迎える関口記嗣会長は、本年度を「新たな出発の年」と位置づけ、会員同士の絆をさらに深め、地域に必要とされる

クラブづくりを進め、例会の充実、会員増強と親睦、青少年育成、地域奉仕活動のさらなる発展に力を注ぎ、「参加して良かった」「誇りを持てる」クラブ運営を目指しておられます。

大勢の新入部員が入会した城西大学ローターアクトクラブのスポンサークラブであり、「新たな出発の年」に向けた、関口会長の決意とリーダーシップが楽しみです。



第3グループ西

8月25日(火)

原島ガバナー公式訪問
入間南ロータリークラブ

入間市産業文化センター



会長
高橋一彰



幹事
近藤勝美

8月25日(火)、原島ガバナー、大河内ガバナー補佐、太田地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催しました。

懇談会では入会3年未満の会員9名が入会後の感想やロータリー活動話し、原島ガバナーからお話を頂きました。皆、やや緊張しながらも実りある時間となりました。

例会では新入会員がガバナーにバッジをつけて頂き、クラブ全員で入会を歓迎。今後の活動の励みになると思います。

例会後は「ロータリー活動に誇りを持てた経験」をテーマにクラブ協議会を開催、ベテランから経験の浅い会員まで膝を交え、活動の経緯や思い、誇りを感じた活動を意見交換、一つひとつの活動に誇りを持てる事を確認し、価値を見出せた充実の会となりました。



第3グループ西 ガバナー補佐
大河内 隆敬 (入間南 RC)

1990年創立の入間南ロータリークラブは昨年度10名の増強を行い、今年度もすでに2名増強し、現在会員数47名と勢いのあるクラブです。

本年度高橋会長はロータリアンとしての誇りと品格をもって事業は真剣に取り組み、親睦は力いっぱい楽しんでいこうという思いを込め「品格と親睦の熟成」を合言葉に、青少年交換留学生の受け入れ。こども太鼓体験会の開催。さらに学習支援団体・フードバンク・子供食堂等の支援など様々な奉仕活動を展開しています。特に今年度は長年支援している「狭山ヶ丘学園インターアクトクラブ」との合同奉仕を継続していく中で、その卒業生を主体に当地区では初となる地域社会基盤の「いるまローターアクトクラブ」を設立。ますます地域奉仕活動の輪を広げています。

昨年35周年を機に掲げたクラブビジョンでは「世界一のロータリークラブとなることを目指す」と堂々と謳っており、本気でその実現に向けて邁進している限りなく期待の持てるクラブです。



第3グループ西

8月26日(水)

飯能ロータリークラブ

原島ガバナー公式訪問
飯能・日高ロータリークラブ

ホテルヘリテージ飯能sta

日高ロータリークラブ



会長

市川 昭



幹事

伊澤健司



会長

白井 威



幹事

齋藤由貴

国際ロータリー第2570地区ガバナー公式訪問飯能・日高合同例会が、国際ロータリー第2570地区ガバナー原島正慈様、同じく第3グループ西ガバナー補佐大河内隆敏様、秩父ロータリークラブから長谷川茂様、関根昭文様、田中健一様の3名の随行者をお迎えして行われました。

例会に先立ち行われた会長・幹事・副会長・会長エレクトとの懇談会では今年度の活動状況、会員増強、奉仕活動等について報告し、原島ガバナーから貴重なご助言とご指導をいただきました。会員同士のつながりを大切にしながら、地域社会に必要とされる活動を継続していくことの重要性を改めて認識する機会となりました。

続いて、入会3年未満の会員が総勢21名参加しての懇談会が開催されました。原島ガバナーよりロータリークラブに関することをわかりやすくご説明していただき、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。

その後の例会でのガバナー記念卓話では、RI会長のメッセージの「持続可能なインパクトを生み出そう」や原島ガバナーの掲げた「ロータリー活動に誇りを」の解説を丁寧にご説明していただき、ロータリーの現状や今後の課題について、さらに理解が深まる機会となりました。

続いてのクラブ協議会では「ロータリー活動に誇りを持てた経験」と題して6名の発表があり、原島ガバナーより講評をいただき閉会いたしました。

大変有意義で貴重な時間を過ごすことが出来ました。心より感謝申し上げます。



飯能ロータリークラブ



第3グループ西
ガバナー補佐
大河内 隆徹
(入間南 RC)



日高ロータリークラブ

飯能ロータリークラブ

飯能ロータリークラブは昭和39年創立の歴史と伝統のあるクラブです。例会では点鐘・ロータリーソング斉唱・お客様紹介の後に食事タイムを設けています。食事を一斉にとることは規律を重んじるだけでなく、会員同士はもちろんゲストとも適度に談笑出来る場面が生まれるという効果があると感じます。

今年度第63代の市川会長は会員同士の更なる交流と学びにより、一層強固なクラブにすることを目標とし「より一層の団結を!」と呼び掛けています。そして、新たな学びの場・新旧会員の交流の場として「ロータリーふれあい塾」を創設し、退会を防止すると共に幸先よく8月現在6名の増強に成功しています。さらに、今後はガバナーの輩出も視野にますますの活躍が期待できるクラブです。



日高ロータリークラブ

創立44年目を迎える日高ロータリークラブは今年度会員数23名でスタートしましたが半数が入会5年未満という活気にあふれたクラブです。例会も堅苦しさが無く、適度な緊張感を保ちながらも和やかに運営されています。

白井会長は「元気なクラブになろう」をスローガンに掲げ、若手会員を役員に登用することでスキルアップを図ると共に会員増強にも力を注ぎ、これまでの小さくて仲の良いクラブから、規模を拡大しより大きな奉仕活動が出来るクラブを目指しています。

「仲間が増えることは、地域のために出来る事が増える事だ」の理念の元、メンバー1人1人がロータリー活動にとどまらず、職業、生活の満足度が向上できるよう邁進していきたいとのことで、今後の活躍が大いに期待できるクラブです。



米山記念奨学生になって

王 媛媛 オウ エンブン
中国・遼寧省（早稲田大学）

米山奨学生となって四か月、ご支援と出会いに感謝申し上げます！

七月末、秋田県雄勝郡羽後町で、西馬音内盆踊りのフィールドワークを一週間行いました。祭りの時期を外れて訪れたからこそ、華やかな踊りの幕の向こうに息づく、町の静かな日常に触れることができました。

コンビニは少なく、バスは一日三本。そこには、この町ならではの穏やかな豊かさがあり、人と人との距離も近く感じられました。外国人の私も温かく迎えられ、西馬音内盆踊り会館では「ありがとうございます」と声をかけていただきました。

国際交流とは、その先で出会う一人ひとりと、生きたつながりを結ぶことなのだと実感しました。

第3グループ西

8月27日(木)

原島ガバナー公式訪問
入間ロータリークラブ

西山荘



会長

繁田 光



幹事

新井 格

8月27日、新例会場の西山荘に原島生慈ガバナー、大河内ガバナー補佐をお迎えしました。ガバナーを支える秩父 RC からは若林会長はじめ3名が随行され、同クラブの強い結束力に感銘を受けました。

会長・幹事・エレクトとの懇談会では、魅力あるクラブ運営と会員増強に向けた有意義な話し合いが展開。続く会歴5年未満者との懇談も、ガバナーの温厚なお人柄により率直な意見が交わされる和やかな場となりました。例会前には当クラブ伝統の「ロータリー美術館」を開催。会員の持ち寄った自慢の逸品を披露。例会では、オリジナルソングの「入間路に朝が来る」を斉唱。繁田会長からは、歌詞に込められた秩父と入間の絆が説明されました。ガバナー卓話の「ロータリーの奉仕は究極の自己投資」との言葉を胸に、クラブ協議会を通じて誇りと奉仕の精神を再認識する貴重な一日となりました。



第3グループ西 ガバナー補佐

大河内 隆徹 (入間南 RC)

入間ロータリークラブは当地区3番目のクラブとして1959年に誕生し、これまでに3人のガバナーを輩出した歴史と伝統のあるクラブです。68年目を迎えた今年度は例会場の変更と会費の見直しという2つの大きな変革の年となりましたが、くしくも新例会場のオーナーでもある繁田会長の適切な運営により、順調な滑り出しとなっています。

一方、会員が所蔵する逸品を例会時に展示する「ロータリー美術館」の開催。故・齋藤金作元分区代理の作詞によるオリジナルソング『入間路に朝が来る』の斉唱などクラブ独自の文化を継承しています。

また、「子供の貧困」対策としての一人親世帯へのクリスマスチャリティプレゼントや教育資材の寄贈などの地域奉仕活動を継続する傍ら、米山記念奨学生の受け入れと財団奨学生候補者の支援も行なっています。さらに今年も5名のメンバーが地区役員として出向し、地区の運営にも積極的に関わっている模範的なクラブと言えるでしょう。



米山記念奨学生になって

ゴチ ヒエン

ベトナム (駿河台大学)

奨学金をいただいたことで、アルバイトの時間を少し減らし、勉強や自分の経験のために時間を使えるようになりました。

5月と6月には、米山記念奨学生及びカウンセラー親睦レクリエーションや学友総会に参加し、他の奨学生や学友の皆さんと交流することができました。国籍や年齢が違って、経験や将来の夢を共有でき、新しい友達もできました。米山奨学金は、経済的な支援だけでなく、人とのつながりや新しい経験を与えてくれる素晴らしい制度だと感じています。

第3グループ西

8月28日(金)

新狭山ロータリークラブ

原島ガバナー公式訪問
新狭山・狭山中央ロータリークラブ

レストラン ニックス

狭山中央ロータリークラブ



会長
新井敏夫



幹事
西澤長次



会長
渡邊高治



幹事
小林 奈保絵

8月28日金曜日、例会場レストランニックスにおいて、狭山中央 RC・新狭山 RC の 2 クラブ合同ガバナー公式訪問が開催されました。

11 時より原島生慈ガバナー、大河内隆敏ガバナー補佐と、両クラブの会長・幹事・入会 3 年未満の会員（1 名）と懇談会を行い、入会 3 年未満にもかかわらず今年度の役員 SAA を務められている事に、ガバナーよりお褒めの言葉を頂きました。

又、2 クラブの統合の件については、ガバナーより全力で応援するので、是非成功して頂き、クラブ統合の見本となるようにと、ご指導を頂きました。

ガバナーの卓話におきまして、RI 会長のメッセージ「持続可能なインパクトを生み出そう」の要点説明、RI の協調事項（優先事項）の説明、2026-27 年度第 2570 地区活動方針の説明、地区スローガン「ロータリー活動に誇りを！」等の説明もして頂きました。

最後に、クラブ協議会にて 4 名が「ロータリー活動に誇りを持てた経験」と題した発表をさせて頂き、ガバナーより大変良い経験のお話を伺えて良かったとお褒め言葉を頂き、充実した公式訪問を終了致しました。





第3グループ西
ガバナー補佐
大河内 隆徹
(入間南 RC)



新狭山ロータリークラブ

1987年創立の新狭山ロータリークラブは会員数10名と小さいながらも、1992年にはソウル新羅ロータリークラブと姉妹クラブを締結し、国際的な交流にも取り組んでいるクラブです。

例会は夜間を常とし、食事は閉会後に会場近くの居酒屋にて自費で自由参加にすることで、クラブの経費を削減すると共に会員同士の親睦をより深める場にもなっているようです。

今年度は支援している西武学園文理高校インターアクトクラブと共に行う募金活動や狭山市中学生環境作文コンクールへの協力など、地域に根ざした活動を継続しながら、狭山中央ロータリークラブとの合併についても調整を進めています。今後はこれまでの実績を大切に、培ってきたつながりを生かしながら、より一層狭山市の発展と地域社会に貢献すべく、奉仕活動に邁進していただけるものと確信しております。

狭山中央ロータリークラブ

1993年創立の狭山中央ロータリークラブは会員数18名のうち15名が70歳以上というベテラン揃いでありながらも、5名の女性会員が積極的に会の運営に携わっており、華やかさも兼ね備えたクラブです。

今年度はフリーマーケットの収益やロータリー財団地区補助金を利用した狭山こども食堂の支援や狭山市を担う子供達に環境について考える心を持ち続けてもらう中学生環境作文コンクールへの特別寄付と作文審査の事業を継続しています。また、来年4月にはホストクラブとして「クラブリーダーシップラーニングセミナー」を開催。さらに次年度カバナー補佐の輩出と地区においても重要な役割を担っています。

そして現在、新狭山ロータリークラブとの合併に向けて、今年度中に具体的な手続きに入れるよう協議を重ねており、今後の更なる飛躍が期待できるクラブです。

『ロータリーの友』の公式 SNS 情報が満載 !!



Facebook



@TomoRotary



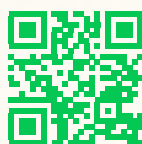
Instagram



@ROTARYTOMO



LINE



@785hoedu



LinkedIn



YouTube



@rotary-no-tomo



新会員紹介

New Member Introduction



石川秀夫
(川越RC)

入 2026年8月25日
勤 石川農園
役 農園主
生 1956年2月21日
紹 野満守・山田哲也



黒田 悟
(東松山RC)

入 2026年8月17日
勤 ㈱ケースプランニング
役 代表取締役
生 1978年12月11日
紹 松本輝美



岩下悟朗
(志木RC)

入 2026年9月2日
勤 名桜産業㈱
役 代表取締役
生 1970年1月20日
紹 國分学・西川和人



吉田 均
(飯能RC)

入 2026年8月5日
勤 ㈱武蔵野銀行 飯能支店
役 支店長
生 1972年10月17日
紹 森健二



野口修一
(飯能RC)

入 2026年8月5日
勤 ㈱野口産業
役 取締役
生 1973年3月20日
紹 都築敏夫



強谷隆彦
(秩父RC)

入 2026年8月25日
勤 秩父電子㈱
役 代表取締役社長
生 1954年10月11日
紹 新井高広



太田博之
(熊谷RC)

入 2026年8月21日
勤 ALSOK㈱ 埼玉北支社
役 支社長
生 1977年7月28日
紹 大澤孝至・時田芳文



島村竜二
(熊谷RC)

入 2026年8月21日
勤 武蔵野銀行 熊谷支店
役 支店長
生 1971年11月22日
紹 大澤孝至・新井孝



町田五鈴
(羽生RC)

入 2026年2月16日
勤 Five bell
役 代表
生 1985年1月18日
紹 奥澤直人・小暮勝彦



出井賢朋
(羽生RC)

入 2026年7月14日
勤 行政書士 出井賢朋事務所
役 所長
生 1979年5月16日
紹 奥澤直人・石川篤信



藤倉宗一郎
(羽生RC)

入 2026年7月14日
勤 ㈲ゴーリキ
役 代表取締役
生 1984年5月17日
紹 奥澤直人・阿部弘一



平野哲雄
(羽生RC)

入 2026年7月14日
勤 ㈱トレンディー
役 代表取締役
生 1978年12月1日
紹 平野賢治・石川篤信



河田晃明
(羽生RC)

入 2026年7月28日
勤 元羽生市長
役
生 1950年8月21日
紹 奥澤直人・石川篤信





表彰

Award Collection

PHF ボール・ハリス・フェロー	MPHF マルチプル・ボール・ハリス・フェロー	PHS ボール・ハリス・ソサエティ	BF ベネファクター
MD メジャードナー	米山 米山功労者	米山M 米山功労者マルチプル	米山MD 米山功労者メジャードナー

MPHF **x1**



山崎 一吉
(朝霞RC)

PHF **x2**



滝沢 文夫
(入間RC)

PHF **x7**



岩崎 茂
(入間RC)

PHF **x3**



山岸 義弘
(入間RC)



訃報

Obituary

永年にわたるロータリーへのご尽力に感謝し、
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



加藤 嘉郎 (秩父RC)
【逝去】2026年8月29日
(享年79歳)
【入会】1988年10月4日
【在籍】37年
【役職】クラブ会長ほか

お詫び

VOL.03 (9月号) 掲載内容に誤りがございました。ここに訂正し、お詫び申し上げます。

8ページ・13ページ
第1グループ南ガバナー補佐
大谷龍之様
所属クラブ
(誤) 川越坂戸RC
(正) 川越小江戸RC

11ページ
第4グループ東
ガバナー補佐
正田康高様 所属クラブ名
(正) 深谷東RC



2570 地区 公式サイト
<https://rid2570.gr.jp/>

会員数

[2026年8月]

グループ	クラブ名	会員数				
		2026年度初め	2026年8月末	対年初増減	2026年8月末女性会員	M Y R C登録率%
第1南	川越	100	102	2	5	50
	川越小江戸	14	14	0	2	50
	川越西	37	38	1	7	68
	川越中央	21	22	1	0	36
第1北	東松山	19	20	1	1	32
	坂戸	33	34	1	1	30
	越生毛呂	7	7	0	1	1
	鶴ヶ島	32	32	0	2	60
	坂戸さつき	20	20	0	4	60
	東松山むさし	35	35	0	3	37
小計		318	324	6	26	42

第2	朝霞	22	22	0	2	50
	志木	49	49	0	4	57
	富士見	36	36	0	1	47
	新座	31	31	0	3	23
小計		138	138	0	10	44

第3西	入間	39	39	0	2	46
	飯能	66	72	6	2	42
	日高	23	23	0	4	43
	新狭山	10	10	0	0	90
	入間南	45	46	1	1	43
	狭山中央	18	18	0	5	44
第3東	所沢	67	67	0	6	32
	新所沢	18	19	1	2	63
	所沢西	38	40	2	4	31
	所沢東	47	48	1	2	30
小計		371	382	11	28	46

第4東	深谷	59	62	3	14	40
	岡部	20	20	0	2	70
	深谷東	70	70	0	0	35
	深谷ノース	30	32	2	5	48
第4西	本庄	111	111	0	12	31
	秩父	52	54	2	1	50
	寄居	31	32	1	1	66
	皆野・長瀬	7	7	0	0	29
小計		380	388	8	35	46

第5西	熊谷	95	95	0	2	49
	熊谷籠原	26	26	0	0	41
	熊谷南	26	26	0	2	54
第5東	行田	52	53	1	5	15
	羽生	37	41	4	4	21
	加須	22	22	0	1	13
	行田さくら	47	47	0	4	67
	吹上	5	5	0	0	80
小計		310	315	5	18	42

地区	合計	1,517	1,547	30	117	42
----	----	-------	-------	----	-----	----

スケジュール

10月 October



5 (月) 地区ゴルフ (平成倶楽部)

6 (火) 【公式訪問】羽生

7 (水) 【公式訪問】熊谷籠原／熊谷南 (夜)

13 (火) 【公式訪問】所沢／新所沢／所沢西／所沢東

15 (木) 【公式訪問】新座

17 (土) 財団第2回オリエンテーション

20 (火) 【公式訪問】越生毛呂

21 (水) 【公式訪問】加須

27 (火) 【公式訪問】秩父／皆野長瀬

11月 November



1 (日) 財団 End Polio Now スリーデーマーチ参加 (3年未満ランニング共催)

7 (土) RLI part II

21 (土) 地区大会 (秩父)

22 (日) 地区大会 (秩父)
青少年第3回オリエンテーション

28 (土) 川越75周年

29 (日) いるまローターアクトクラブ認証式

ガバナー月信 10月号 2026-2027年度 Vol.4

2026年10月10日発行

国際ロータリー第2570地区 地区事務所
〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2丁目5番14号
ガーデンホテル紫雲閣内

[TEL] 0493-21-2570 [FAX] 0493-21-2571

[mail] d-office@mail.rid2570.gr.jp

[Web] https://rid2570.gr.jp

[ガバナー月信編集委員会] 委員長：井上 豊 副委員長：金子展明
委員：宮前 勉 浅見 徹 橋本和也